

# 議会だより

元いじめっ子! 土庄町

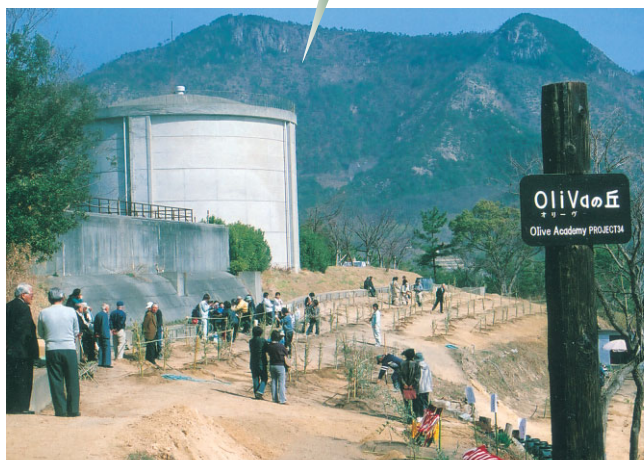


「ボランティアの皆様」



No.32 contents

- 平成20年度当初予算 …………… 2P
- 常任委員会の活動……………3～5P
- 一般質問……………6～8P



知的障害者通所授産施設「ひまわりの家」の「オリーブの丘」

# 平成20年度当初予算 総額139億9,097万円を可決

(平成19年度149億1,761万円)

平成20年3月定例会は、3月6日から21日までの16日間の会期で開かれ、平成19年度補正予算6件、平成20年度当初予算12件、条例関係18件、その他2件、議員提案など3件を審議し、原案どおり可決しました。

## ◆一般会計予算……………74億3,400万円 (19年度 68億2,500万円)

### 主な支出事業

- 地域水産物供給基盤整備事業…1億 500万円 ● 港整備交付金事業 (馬越港) ……1億5,130万円
- 小海浜住宅建替事業……………1億6,583万円 ● 土庄中学校校舎改築事業……………10億6,071万円

## ◆特別会計予算……………41億8,798万円 (19年度 57億6,502万円)

平成20年度から後期高齢者医療事業に移管されたため減額

## ◆企業会計予算……………23億6,899万円 (19年度 23億2,759万円)

※詳しくは町広報4月号をご覧ください。

## 採決の結果

区分	議案の内容	賛成	反対	結果	区分	議案の内容	賛成	反対	結果
条 例	町長及び副町長の給与支給条例の一部改正	13	0	全 件 可 決	予 算	19年度一般会計補正予算(第6号)	13	0	全 件 可 決
	公共用財産管理条例の一部改正	13	0			19年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	13	0	
	乳幼児に対する医療費助成条例の一部改正	13	0			19年度大鐔財産区特別会計補正予算(第3号)	13	0	
	母子家庭等医療費支給に関する条例の一部改正	13	0			19年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	13	0	
	後期高齢者医療に関する条例	13	0			19年度福祉サービス事業特別会計補正予算(第3号)	13	0	
	重度心身障害者等医療費支給に関する条例の一部改正	13	0			19年度病院事業会計補正予算(第3号)	13	0	
	国民健康保険条例の一部改正	13	0			20年度一般会計予算	13	0	
	介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正	13	0			20年度簡易水道事業特別会計予算	13	0	
	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	13	0			20年度国民健康保険事業特別会計予算	13	0	
	農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	13	0			20年度老人保健事業特別会計予算	13	0	
	漁港管理条例の一部改正	13	0			20年度埋立事業特別会計予算	13	0	
	道路占用料徴収条例の一部改正	13	0			20年度大鐔財産区特別会計予算	13	0	
	普通河川等管理条例の一部改正	13	0			20年度農業集落排水事業特別会計予算	13	0	
	都市下水路条例の一部改正	13	0			20年度介護保険事業特別会計予算	13	0	
	港湾管理条例の一部改正	10	3			20年度福祉サービス事業特別会計予算	13	0	
	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	13	0			20年度後期高齢者医療事業特別会計予算	13	0	
	国民健康保険土庄中央病院使用料、手数料条例の一部改正	13	0			20年度水道事業会計予算	13	0	
	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	13	0			20年度病院事業会計予算	13	0	
				その他	小豆地区広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び小豆地区広域行政事務組合規約の一部変更	13	0		
					土庄町小豆島町環境衛生組合の財産処分について	13	0		

※議会関係を除き、町長提出の議案のみ掲載しました。(編集委)

常任委員会の活動

総務建設委員会

総務課

学校等跡地利用に関しては、まず幼稚園では3園が廃園中で、そのうち戸形は、民間へ貸し付けております。北浦は幼児園の倉庫、豊島は障保育所として利用されています。

小学校のうち戸形は公民館、体育館を除き、芸術・文化・体験型の新たな集客施設として計画を練っているところで

す。町としても、老朽化を待つのか、わずかな可能性があるなら民間利用に期待するのといったところとの説明でした。

大鐸については、ご承知のように小規模多機能型居宅介護施設としてスタートしています。大部は一部ふれあいサロンの利用している以外はそのままです。保育所では、大部は幼児園

の倉庫、大鐸は消防大鐸分団屯所となっているようです。

委員より、跡地利用に関して民間を活用し前進するのか、地元から声がかかるのを待つのが難しいところだが、いずれにしても、話が進展すればその都度報告してもらいたいとの意見がありました。

2点目の重油流出事故のその後ではありますが、昨年未までに全て決定され、各団体への補償給付も終了し、これを受け、12月28日に油流出調整室を閉鎖したようです。なお、わが町への補償額は請求額とほぼ同額の15万3千円を1月末に送金を受けています。

3点目として決算状況表の説明があり、改めてわが町の危機状態を再確認することになりました。

企画課

行財政改革の平成18年度の取り組み状況と経過について報告をいただきました。改革への取り組みについては、各部署の連携と全職員の改革への意識徹底を強化していること

のことでした。

研修の見直し、人事評価の導入、総人件費の抑制、効果的な組織づくり、定員適正化、民活導入への検討、更に事務分野では窓口の時間延長、職員による文書宅配、預かり保育、幼稚園の給食拡充、使用料改定、新たな収入源の開発などの成果を得ているようです。

委員より、人件費部分においてはどの程度の減員を考えているのか、文書宅配の成果は、おせっかいパーティの進展への質問がありました。

現計画のうえで11名削減の120名を予定しているが、平成19年度末にかなりの退職者があることから大幅に早く達成できそうであり、文書宅配は916万円の削減額となっている、おせっかいパーティでは、最初の1組がゴールイン、今回のパーティでは3組のつき合いがまだ続いているとのことでした。

あと報告ということ、豊島地区に福武美術館財団が美術館建設の計画があるとのこと、二〇一〇年までの完成を目指すとのこと、委員より、美術館だけでなく、その付随した施設として

レストラン、料理学校、宿泊施設も出来ればありがたいという意見がありました。

税務課

土庄町国民健康保険税条例の一部改正について説明がありました。

平成20年度から後期高齢者医療制度が開始され、これに伴い75歳以上の国民健康保険の被保険者が後期高齢者医療保険の方に移行し、現行の国民健康保険税は、医療分と介護分から成っているものが、新たに後期高齢者支援分が加わることにより、国民健康保険事業の運営を維持していくためにも、国民健康保険税率の見直しをする必要があり、税率の改正があります。

この条例の一部改正については、3月議会に議案として上程する予定ですが、今の国会の状況からして、税制改正法案の審議がずれ込み、年度末の成立になる見通しが強い、3月議会に議案を上程するのが非常に厳しい状況にあるようです。

その場合は、臨時議会をお願いしまして、対応させていただきます。後期高齢者医療制度の開始、

退職者医療制度の廃止により、被保険者数見込みが5,179人となり、医療分については税率の計算方法も大きく変わり、応能応益割合をそれぞれ均等割35、平等割15、資産割8、所得割42になります。

委員より、後期高齢者医療で香川県が一つの広域連合になれば、老人医療費が県下でも低かった土庄町にとっては、負担が大きくなるのか、又そういうことに対する恩恵のようなものはあるのかとの質問がありました。

当然そういう恩典などはなく、負担は伸び、どちらかといえば支える町になるという説明がありました。



迷路のノスタルジックな町並

**建設課**

土庄港周辺駐車場計画についての説明がありました。

冒頭に、平成13年当時の池田港、内海港との比較の中で土庄港の無料駐車場の議論以後、国道436号からフェリー乗り場への周辺整備、2年前の耐震岸壁施工による人の流れなどから、現在への計画となった経過の説明がありました。

群像前の送迎用駐車場については、フラップ版方式での対応を考えているようです。

これと併行して吉ヶ浦埋立地を整備し、有料駐車場を計画しているようです。その為、埋立地内道路を県から購入し進めるようです。料金についても、ターミナル横の駐車場と同額で、有料・無料などの不公平を是正し、併せて埋立会計の健全化のためとの説明がありました。

**委員より**、これまでの経過への確認と、どうしても賛成できないとの反対意見もありました。



**水道課**

濁水対策本部を設置していることもあり、貯水状況の報告がございました。例年に比べると4倍の降水量があり、大きく好転しているとのことです。

各ダムの貯水状況への細かい説明があり、今後の長期予報では2月には期待できそうです。3月は少ないようです。

**委員より**、小豆島町では濁水対策本部を解散したと聞いているが、土庄町ではどうなのかといった質問がありました。

担当課からは土庄町の場合、豊島の状況もあり、もうしばらく様子を見守る予定とのことでした。

**商工観光課**

商工観光課からはうれしいお知らせをいただきました。

1月2日、NHK総合テレビで放送されたお正月特別番組「これこそ！わが町元氣魂」地域のご自慢CMで『エンジンエルロード』が、『第一回元氣魂大賞』を受賞したものです。あと、オリーブ100周年記念事業として、数々のイベントが4月から実施されるとのことです。

とで協力をお願いしたいとのことでした。

それから、オリーブ基金についての詳細な説明と、12月議会で一般質問のあった犬の糞の放置に警告・イエローカード作戦の実例提案もございました。

最後に、新しく作成した観光ガイドブックと観光DVDの紹介がありました。

エンジェルロード引潮



**農林水産課**

人口も減り続け、若者の流出と同時に超加速度的に進展する少子高齢化も大きな要因の一つであります。遊休農地」の広がりには考えさせられるものがあります。

昭和60年に農家戸数1,308戸、耕地面積707ヘクタールあったものが、平成17年には農家戸数629戸、耕地面積378ヘクタールまで減少し、その多くが遊休農地ということでした。

この抑制・解消に向けては様々な施策・整備が行なわれており、その後継者育成を訴え続けているところのようです。

非常に深刻な状況で、今後は、特定法人貸付事業などを検討し、農業生産法人以外の法人が利用権設定で農地の権利取得が出来るなど、農業離れが進む中での貸借を勧め、利用できれば荒地解消につながるのではないかとのことでした。

**委員より**、権利取得後の耕作面積が2反に満たない場合、農地の権利移動が原則認められない現状を緩和できないかとの意見がありました。

かかる建築確認申請の進捗については、当初12月末完成が確認申請の遅れの関係で3月初旬になるとの説明がありました。

**委員より**、一日でも早く完成し、新校舎へ入れるよう努力して下さいとの意見がありました。

もう一点は、地球に優しく、また温暖化対策にもなり、是非クリーンエネルギーの設置を検討すべきとの提案がありました。

次に、小学校再編については、土庄町における適正な小学校数は豊島小学校を除き、新築1校が望ましいとの結論でした。

最後に四海地区のよつみ号の委託については、シルバー人材センターに委託するようです。

**委員より**、シルバーへの委託の際に年齢制限を多少配慮いただきたいとの意見がありました。

**教育民生委員会**

**教育総務課**

土庄中学校校舎改築事業に



**生涯学習課**

成人式開催時期については、委員10名による検討委員会が立ち上げられ、町長から検討を諮問されました。

アンケート結果も踏まえ、膨大な資料を集め2回の会議を開き意見を交換し、その後、内部検討も経て、最終的には1月実施とご意向です。

今後は、土庄町並びに土庄町教育委員会の共催となるようになります。

町誌続編の発刊については、3月末を予定しているようです。

**健康増進課**

平成20年度からの各種がん検診等における自己負担額の変更についての説明があり、200円から400円程度高くなるようです。

**委員より**、小豆島町では前立がんの検診があるが、ぜひ土庄町も考えて欲しいとの意見がありました。

次に2点目は、带状疱疹について、ワクチン開発のため国内では初めてこの小豆島で研究が行なわれることになりました。

行政はもとより、自治会連

絡協議会でも協力をしていることと自治会ごとに説明会を開催しているようです。

**中央病院**

病床数の変更については、施設基準として病室面積が入院患者1人につき現行62㎡が64㎡に変わり、これまで4床4室だったものを3床4室に変更するものです。

これにより、介護療養型病床は18床から14床に変更となります。

2点目の豊島地区巡回診療に関して、唐櫃地区老人憩いの家で火・木の午前中診療ができるようになります。

オリーブの花言葉・平和と知恵



**福祉課**

国民健康保険制度の改正については、平成20年度から特定健康診査にかかる、自己負担は500円、保健指導は無料にする予定で、後期高齢者医療制度の開始されることにより、医療分と後期高齢者支援分の2つに分かれるとのこと。

葬祭費については、現行の3万円から、5万円に上げる予定となっています。

次に福祉医療費制度の改正については、重度心身障害者と母子家庭等医療費支給事業における医療費の全額あるいは一部を助成してきましたが、来年度から課税世帯に対して一部負担金を求めることになりました。

重度心身障害者等医療費支給事業については、課税世帯の方は外来で、1件あたり1,000円、入院の場合は2,000円の自己負担をいただくものです。

母子家庭等医療費支給事業においても、課税世帯への自己負担は、外来で1件あたり500円、入院で1,000円までとし、保険薬局については、自己負担を求めないことになっています。

次に乳幼児（6歳未満）に対する医療費助成事業については、窓口で自己負担を払わなくてもよい医療機関を郡内から県内の医療機関に拡大することにしています。

実施日はすべて、平成20年8月1日から施行するとのこと。

あと、後期高齢者医療制度についての説明を受けました。

**委員より**、退職者医療の定義はどうか、また、次の委員会に各世帯別にモデルケースを提示した説明をいただきたいとの要望がありました。

**住民環境課**

し尿収集費用の見直しと浄化槽汚泥処理費用の設定について、18ℓあたり189円を210円の見直しとなり、実施時期については、少なくとも3か月くらいは必要との説明でした。

**委員より**、負担増は心苦しいとの意見があり、浄化槽汚泥処理費用では、段階的な負担増も検討してはどうかなどの意見もありました。

あと、報告事項として3点ありました。

1点目は、前のし尿処理場「柚ヶ浜浄苑」の建物と門柱・門扉が環境衛生組合の財産として決算書に残っており、これを小豆島町の了解を得て整理することです。

2点目は、交通事故相談所が閉鎖し、今後は社会福祉協議会の「心配ごと相談所」に引き継ぐことになっています。

3点目は、一般廃棄物収集運搬業者の許可に関する事で、これまで町の許可業者の上に新たに町内業者の指定を考えているとのことでした。

エンジェルロード満潮



# 町政に対する質問

3月定例会  
一般質問事項

柳生好彦 議員

偉大なる田舎を目指して  
はどうか

**Q** 我が町には素晴らしいプラス要因のものが多くあり、前向きに明るく対応することで発展し、マイナス要因をおさえていくことが出来るのではありませんか。

**A** 就任してから3年目を迎え、私は、「自助、互助、公助」の精神のもと、希望と元気が出る町づくり、誇りの持てる町を目指して町政を進めて参りました。時代は今、変革の中にあり、地方自治を取り巻く社会経済情勢は大きな転換期を迎えております。私は、この変革の時代に、町長としての責任の重大さを今以上に自覚しながら、今後も町政運営に前向きに取り組んで参ります。

川口幸路 議員

悪質な滞納者に対する対応策は

**Q** 滞納者への対応はどのようにしているのか。

**A** 新たな滞納者を出さないことを基本に早期対応を心がけており、督促状の送付、電話催告、催告書の送付、戸別訪問及び納税相談などを実施しまして、滞納原因の把握に努め、あらゆる方法を駆使して、納期限内に完納していただくよう努力しております。

**Q** 悪質滞納者への対応(処分)についてどう実施しているのか。

**A** 税務課内で言う常時滞納者については、積極的に戸別訪問による納税相談の回数を増やして、分納の納税計画の確約書を取り付け、また、すでに確約書を締結している滞納者について

は、分納額の増額をしていた  
だくよう交渉しております。

山本良熙 議員

迷路のまちへの町の支援策は

**Q** 伝統と歴史ある本町地区の迷路の路地を利用して小豆島の新しい観光スポットづくりの調査、研究を進めておりますが、今後更にあるものにするためには、これからの行動が正念場となります。町としても「迷路のまち」は活力ある街づくりのチャンスでもあります。町としてどのような支援策を考えているのかお聞きしたい。

**A** 新たな観光情報システムとして、携帯電話を利用して携帯用のホームページから手軽に情報を提供するシステムの導入を検討しております。システム内容については、「エンジェルロード」「土淵海峡」「西光寺」「尾崎放哉記念館」等々「迷路のまち」周辺の文化・歴史を盛り込んで構築して参りたいと思っております。いずれにしましても

「迷路のまち」再開発事業は商店の皆さん、住民の皆さんが主体的に取り組むことによつて実を結ぶものであつて、行政はそれをお手伝いする立場であること認識しております。地域のリーダーの方々と共に、新たなまち歩き観光のスポットとして、迷路のまちの活性化に取り組んで参りたいと考えております。

上川正衛 議員

県が今年文化振興元年と位置づけているがそれに伴う我が町の取り組みは

**Q** 豊島に福武美術館財団が美術館を建設するという話が報告されました。この計画に我が町も積極的に関わっていくべきではないでしょうか。

**A** 福武美術館財団が豊島に美術館を建設することについては、島の活性化や交流人口の増加、芸術文化による賑わいづくりなど町にとつてもまたとない機会であると認識しております。しかし、まずは豊島地区住民の

合意が必要であると考えており、具体的に候補地が決定すれば、美術館建設に係る各許認可等について、町内部での協力体制を整えたいと考えております。

**Q** スポーツの方面では、ターゲット・フルマランも見つめ直し、より良い全国大会とすべき絶好のチャンスだと思えますがいかがお考えでしょうか。

**A** マラソン大会の当初の目的である観光シーズン閑散期の集客という目的は果たしていると考えます。また、運営面や運営資金面においては、大手スポンサーによる冠大会にするなどして、開催時期・実施内容を様々な角度から検討する時期にさしかかっていると考えております。



泊 満夫 議員

移住推進にあたり障害となつて居る農地の取得条件の緩和を

小豆島に移住希望の方で、新たに土地転用

で購入し家屋を新築する場合土地の面積に占める建物面積の割合に規制があるが、弾力的な運用ができないか。

要件を緩和した場合に起こりうる弊害も考慮した上で、必要不可欠な要望は地元農業委員会を通じ、県農政部局へ調整を図るべきであると考えております。

畑を購入する場合、最低2反以上の制限があるが、1畝・2畝でも購入できるように緩和措置が考えられないか。

昨年12月に県より市町農業委員会に対し、下限面積の設定についての意見照会がありまして、本町農業委員会においては、法令上可能な面積で最も低い10アールとすべき旨の回答をしております。

あと農業委員会の中で農地転用に對する提言に對する質問がありました。

障害者自立支援法の改正に伴つ授産施設及び障害者、家族の生活基盤の確立を

応能負担から応益負担に変わり、一割負担の制度に変わった。このことは、家計の圧迫につながり、また入所者、通所者、の障害区分によって施設が受ける補助金額が変わってくる。これは小規模施設や作業所にとつて死活問題となつてくるが今後の町の対応は。

支援費制度では、負担がほとんど無かつたことを考えると、上限額があるものの利用者にとつて負担感強いと考えられます。町としては、今後の国の動向を踏まえながら、適切な利用者負担の算定を行つて行きたいと考えています。

あと障害者児童を抱えている方々の経済的緩和措置を図るため、土庄港に数台置ける無料駐車場設置を検討すべきではとの質問がありました。

井上正清 議員

子育て支援の充実を

厚生労働省が取り上げています、区市町村が設置運営するファミリー・サポート・センター事業があります。「育児の援助を行う提供会員」と「育児の援助を受ける依頼会員」が助け合いながら子育てする有償のボランティア活動です。

そこで次についての考えを示していただきたい。  
①公的機関での会員同志の面接・自治体による保険・1日講習等々。  
②我が町では、子育て支援センターで、職員1名増員での実施により両センターも安定運営が可能に。

我が町ではようやく子育て支援センターが軌道に乗り、年間利用約8,000人になりました。しかし、地域子育て支援拠点事業として、平成22年度から専任の職員を2名配置しなければならぬため、他の事業との必要度と採算面等をよく見極

めて、取捨選択が必要になります。いずれにいたしましても、子育て支援は町の重要課題の一つです。この事業についても、県下で始まったばかりですので、実施団体の状況等を見ながら、今後の研究課題とさせていただきます。

農業振興の新たな取組を

イチゴも大切だが、「スイートスプリング」「キウイ」「芋(四海)」などの振興策について。

平成20年度には県の補助事業により農協の柑橘部会が中晩柑(デコポン、はるみ)のKブランド化の事業を予定していますが、これからも小豆農業改良普及センター等と協議しながら農業の振興に取り組んで行きたいと考えております。

「小豆島まつり」について

四国4大まつりを招へいしてはどうか。  
四大まつりのいずれかの招へいについては、現状の運営資金では非常に厳しいものがあります。小豆島まつりは、「町民が一同に会する唯一のイベント」町民総参加でありますので、これからも創意と工夫を重ねて参りたいと思います。

その他、小海浜住宅建替に当たり、町内業者に請負限定をとる質問と土庄中央病院の



会計システムに掲示板の取付けなど、ITを導入して効率よく出来ないかとの質問がありました。

**川本貴也** 議員

観光資源の有効活用を早急に(エンジェルロードのPRを)



小豆島観光の目玉として全国的に売り出す絶好のチャンスと思うが、今後のPR方法はどのように考えているのか。



エンジェルロードに関わりのある記念日に、現地を訪れた方に記念の証明書を発行したり、エンジェルロードでキャンダルを持って渡るイベントなどを実施したいと考えています。その他、ポスター等の印刷物についても写真を撮りなおして、リニューアルして作成したいと考えております。今後エンジェルロードの自然の美しさを損なうことなく、訪れた全ての人が「幸せ」や「癒し」のイメージを感じられるスポットとしてPRしていきたいと考えております。



駐車場確保と道路や漁港周辺の環境整備が必要と思われるが、今後の取り組みは。



漁港施設内の野積場用地には、のり網・漁具等を置いており、エンジェルロードの美しい風景を生かすためにも早急に対応する必要がありますかと思えます。今後は、漁業協同組合、野積場利用者の方と協議する必要がありますので、駐車場の確保を含めて周辺環境を少しでも改善する方向で対応して参りたいと考えております。

**交通問題対策特別委員会を設置**

地域振興をはじめ、まちづくりの基盤となる陸上及び海上を含めた公共交通等の諸問題について調査・研究を行い、町民の利便性と安全性を図るため、本委員会を設置しました。

- 〈委員長〉太田 和博
- 〈副委員長〉丹生 則幸
- 〈委員〉山本 良熙
- 〈委員〉上川 正衛
- 〈委員〉井上 正清
- 〈委員〉川口 幸路
- 〈委員〉山口 保範

**編集後記**

新緑の中にピンク色のつつじ、調和のとれた色合いが私達の心をなごませてくれる季節となりました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

新年度予算を可決し、新しい年度がスタートと致しましたが、今年度も相変わらず厳しい予算となっております。表紙の写真は知的障害者通所授産施設「ひまわりの家」の自立をめざす「オリーブの丘」です。ボランティアの皆様のご苦労が、来春には枝いっぱい白い花が咲き誇り、秋には枝もたわわにオリーブが実ることでしょう。

先日、前島のおかげさまハイキングに行ってみました。コースの中には、今にも山の頂上から、大きな岩が転がり落ちそうな小瀬の重ね岩があります。皆さんも、ぜひ登ってみてはいかがでしょうか。

今後とも議会に対するご意見・写真等ぜひ投稿をお願いします。



**新年度を迎え各委員会も引き続き頑張りますのでよろしくお願い致します**

〈教育民生常任委員会〉

- 〈委員長〉川口 幸路
- 〈副委員長〉三枝 邦彦
- 〈委員〉川本 貴也
- 〈委員〉泊 満夫
- 〈委員〉丹生 則幸
- 〈委員〉山口 保範
- 〈委員〉藤本 誠助

〈総務建設常任委員会〉

- 〈委員長〉上川 正清
- 〈副委員長〉井上 良熙
- 〈委員〉山本 好彦
- 〈委員〉柳生 功
- 〈委員〉川口 彰治
- 〈委員〉山本 和博
- 〈委員〉太田 和博

〈議会広報特別委員会〉

- 〈委員長〉泊 満夫
- 〈副委員長〉山本 良熙
- 〈委員〉川本 貴也
- 〈委員〉上川 正衛
- 〈委員〉川口 幸路
- 〈委員〉太田 和博
- 〈委員〉藤本 誠助

〈議会運営委員会〉

- 〈委員長〉丹生 則幸
- 〈副委員長〉三枝 邦彦
- 〈委員〉泊 満夫
- 〈委員〉上川 正衛
- 〈委員〉川口 幸路
- 〈委員〉山本 和博
- 〈委員〉太田 和博

**みんなで考えよう 未来の土庄町!**

町議会の本会議は公開されています。皆さんが選んだ議員がどのような会議を行い、町政がどのように進められているかなど、町議会の実際を知りたい方は、いつでも傍聴することができます。詳しくは議会事務局へお尋ねください。(6217011)

次の町議会は、6月25日から予定しています。

この議会だよりは、再生紙を使用しています。